

# 平成26年度 大麻中 広塚分校「学力向上実行プラン」

大麻中 広塚分校 校長 矢野 謙作 印

## 1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員 会		
	職 名 ・ 校務等担当名	氏 名
管理職	教頭	江藤 将
学力向上推進員	教諭 教務主任	丸山 直生
委員	教諭 保健・衛生	鳥養 久美子
	教諭 人権教育・道徳	小濱 晃子
	教諭 進路・生徒指導	渡辺 仁
	助教諭 図書館教育	坂東 郁代

## 2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

### (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児 童 生 徒 の 状 況			
よ	小学校の内容から復習する必要がある生徒が多いため、自分の学力の向上を確認しやすい。	課	その一方で、少しでもつまずくと投げやりな気持ちに陥り、著しく集中力を欠くことがしばしばある。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
確認テスト, 中間テスト, 期末テスト等において, 良い成績がおさめられるようにする(自信を持たせたい)。		すべての生徒が, 各教科において70点以上を1回以上とれるようにする。	----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
教材研究を入念に行い, 個に応じた分かりやすい授業, やる気を引き出す授業を工夫する。授業において, 繰り返し復習を行い, 知識・理解の定着を図る。 *中間期の見直し		すべての教科をT・Tで行い, 生徒のやる気を引き出したり, つまずきをサポートできるようにする。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		
よ さ	図や表を書き写すなど、教師の期待に全力で応えようとする姿が見られたり、手先が器用な生徒も多い。	課題 文章の読解力や聞き取る力が全般的に低く、口頭での質問では、的確な返答をすることが難しい生徒が多い。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標
充実した自主学習ができる。また、3年生では、原籍校で実施される実力テストでも良い成績がおさめられるようにする。		個々の生徒の志望高校合格に必要な得点が取れるようにする。
		達成状況 ----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標
徳島学院の職員と連携し、目標を持って自主学習ができるようにする。 ----- *中間期の見直し		入試にも対応できるように、しかるべき時期からは補充学習などで難度の高い問題にも挑戦させる。
達成状況を踏まえた改善事項		

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		
よ さ	答えに自信を持っている問いに対しては、積極的に挙手をして、発表することができる。	課題 授業中、外部の刺激に対して敏感に反応し、課題に集中できなくなることがしばしばある。 また、学習の積み重ねが苦手なため、数学と英語の学力を定着させにくい。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標
授業評価(本校が独自に取り組んでいる授業中における生徒の態度の善し悪しを判定したもの)を向上させる。		各教科で、すべての生徒が、5段階評価のうち4以上の評価を得られるようにする。
		達成状況 ----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標
充実した学習ができていない生徒については、全員の前で褒めたり、授業評価に反映させたりすることで、学習意欲を高める。 ----- *中間期の見直し		分かりやすく、やる気を引き出せる授業や達成感が味わえる授業を追究する。
達成状況を踏まえた改善事項		